

電子メールアドレスの誤送信について

令和3年10月13日
厚生労働統計協会

令和3年度社会保障・人口問題基礎講座の開催準備中に発生した電子メールアドレスの誤送信について、下記のとおり概要をお知らせいたします。

関係者の皆様には多大なご迷惑をお掛けすることになりましたことを深くお詫びするとともに、再発防止に努めて参ります。

記

1 事案の概要

令和3年10月11日、令和3年度社会保障・人口問題基礎講座の会場・設備等の委託業者である株式会社マグネットスタジオから再委託された株式会社ブループロジェクトの担当者が、基礎講座参加者に電子メールを一斉送信した際、誤ってメールアドレスを宛先欄に入力したため、基礎講座参加者のメールアドレスが表示される形で送信された。

※誤送信された電子メールアドレス件数：127件

※漏洩した情報は、基礎講座参加者のメールアドレスのみであり、その他の情報は含まれない。

2 発生原因

通常、メールアドレスはBCC欄に入力して送信すべきところ、宛先欄に誤って入力し送信したこと。また、メールの送信時の確認が不十分であったこと。

3 関係者への説明

事案の判明後、株式会社ブループロジェクトより、送信した全対象者に対し、メールにより謝罪するとともに、該当メールの削除を依頼し、削除が完了したらメールにより連絡をお願いした。

4 再発防止策

今後、株式会社マグネットスタジオ及び株式会社ブループロジェクトにおいては、電子メールを送信する際には、複数の職員による確認を徹底し、改めて職員に対する個人情報の周知・徹底を図ることとしている。厚生労働統計協会としては、株式会社マグネットスタジオに対して、個人情報保護の重要性と個人情報漏洩の再発防止を指示し、個人情報の適切な管理・取扱いを徹底するよう指示を行った。